

三重県内の治安情勢（平成29年・暫定数値）

1 「刑法犯」の認知・検挙状況

認知件数は前年に比べ765件（5.4%）減少した。

	認知件数	検挙件数	検挙人員	検挙率
平成29年	13,347	5,717	2,193	42.8%
平成28年	14,112	4,557	2,159	32.3%
増減数	-765	1,160	34	
増減率	-5.4%	25.5%	1.6%	10.5P

2 「重要犯罪」の認知・検挙状況

前年に比べ認知件数は13件（13.3%）減少、検挙率は2.8ポイント下降した。

		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取・誘拐	強制わいせつ
平成29年	認知件数	85	9	15	9	13	3	36
	検挙件数	80	10	12	8	19	2	29
	検挙人員	59	9	12	6	10	3	19
	検挙率	94.1%	111.1%	80.0%	88.9%	146.2%	66.7%	80.6%
平成28年	認知件数	98	6	23	5	14	2	48
	検挙件数	95	6	20	4	16	2	47
	検挙人員	64	5	17	3	12	2	25
	検挙率	96.9%	100.0%	87.0%	80.0%	114.3%	100.0%	97.9%
検挙率の増減		-2.8P	11.1P	-7.0P	8.9P	31.9P	-33.3P	-17.3P

※ 強制性交等には、平成29年7月13日刑法改正前の強姦の認知・検挙を含む。

3 「重要窃盗犯」の認知・検挙状況

前年に比べ認知件数は266件（13.7%）減少、検挙率は29.1ポイント上昇した。

		総数	侵入盗	自動車盗	ひったくり	すり
平成29年	認知件数	1,681	1,429	227	10	15
	検挙件数	1,412	933	467	7	5
	検挙人員	111	88	21	1	1
	検挙率	84.0%	65.3%	205.7%	70.0%	33.3%
平成28年	認知件数	1,947	1,547	370	21	9
	検挙件数	1,068	999	63	5	1
	検挙人員	146	117	25	3	1
	検挙率	54.9%	64.6%	17.0%	23.8%	11.1%
検挙率の増減		29.1P	0.7P	188.7P	46.2P	22.2P

4 「重点犯罪」の認知状況

認知件数の総数は減少したが、車上ねらい、特殊詐欺が増加した。

	総数	空き巣	忍込み	自動車盗	車ねらい	部品ねらい	ひったくり	強制わいせつ	オートバイ盗	自転車盗	特殊詐欺
平成29年	5,134	406	255	227	976	608	10	36	252	2,159	205
平成28年	5,681	473	260	370	926	644	21	48	326	2,449	164
増減数	-547	-67	-5	-143	50	-36	-11	-12	-74	-290	41
増減率	-9.6%	-14.2%	-1.9%	-38.6%	5.4%	-5.6%	-52.4%	-25.0%	-22.7%	-11.8%	25.0%

5 「特殊詐欺」の発生状況

前年に比べ件数は41件増加、被害額は約2億1,410万円減少した。

		振り込み詐欺	振り込み詐欺以外	合計
平成29年	件数	200件	5件	205件
	被害額	約2億8,280万円	約2,270万円	約3億0,550万円
平成28年	件数	146件	18件	164件
	被害額	約3億5,020万円	約1億6,940万円	約5億1,960万円
増減	件数	+54件	-13件	+41件
	被害額	-約6,740万円	-約1億4,670万円	-約2億1,410万円

6 「暴力団・薬物事犯」の検挙状況

暴力団検挙人員は前年に比べ11人（7.3%）減少した。

薬物事犯検挙人員は前年に比べ12人（9.3%）減少した。

	暴力団検挙人員			薬物事犯検挙人員			
		刑法犯	特別法犯		覚醒剤	大麻	その他薬物
平成29年	140	97	43	117	99	16	2
平成28年	151	108	43	129	106	18	5
増減数	-11	-11	0	-12	-7	-2	-3
増減率	-7.3%	-10.2%	0.0%	-9.3%	-6.6%	-11.1%	-60.0%

7 「来日外国人犯罪」の検挙状況

検挙件数は前年に比べ20件（11.6%）増加した。

	総数		刑法犯		特別法犯	
	検挙件数	検挙人員	検挙件数	検挙人員	検挙件数	検挙人員
平成29年	193	99	150	71	43	28
平成28年	173	84	114	51	59	33
増減数	20	15	36	20	-16	-5
増減率	11.6%	17.9%	31.6%	39.2%	-27.1%	-15.2%

8 「不法滞在者」の検挙・摘発状況

検挙・摘発人員は前年に比べ32人（61.5%）増加した。

	検挙・摘発人員	
		うち 合同摘発
平成29年	84	55
平成28年	52	29
増減数	32	26
増減率	61.5%	89.7%

※ 「不法滞在者」には、不法残留、不法在留のほか、資格外活動で検挙・摘発した外国人を含む。

9 「非行少年等」の検挙・補導状況

(1) 非行少年

非行少年は前年に比べ11人（0.3%）減少した。

	総数	刑法犯少年	特別法犯少年	ぐ犯少年
平成29年	357	321	36	0
平成28年	368	322	45	1
増減数	-11	-1	-9	-1
増減率	-3.0%	-0.3%	-20.0%	0.0%

※ 非行少年とは、犯罪又は触法行為若しくはぐ犯行為により検挙又は補導された少年をいう。

(2) 不良行為少年

不良行為少年は前年に比べ3人（0.1%）減少した。

	総数
平成29年	2,884
平成28年	2,887
増減数	-3
増減率	-0.1%

※ 不良行為少年とは、喫煙、飲酒、深夜はいかい等により補導された少年をいう。

10 「交通事故」の発生状況

人身事故件数、死者数、負傷者数とも前年に比べ減少した。

死者数は、統計が残る昭和29年以降、最少となった。

	人身事故 件数	死者数	負傷者数	
			重傷	軽傷
平成29年	5,440	86	7,112	6,398
平成28年	6,038	100	8,158	7,311
増減数	-598	-14	-1,046	-913
増減率	-9.9%	-14.0%	-12.8%	-12.5%